

## 公益社団法人長岡法人会 会長賞

### 税の必要性

新潟大学教育学部附属長岡中学校

三年 結城 璃音

あなたは税にどのようなイメージを持っていますか。「多種類あり、それらが高い」と不満顔をしている人も、おそらく少なくはないでしょう。正直私も小遣いが残り少なくなった時など、消費税を煩わしく感じます。幼い頃は、税の必要性すら認知していませんでした。しかし「税」というものを意識すると、私達の日々の生活には必要不可欠なものだと改めて実感します。

私は学校生活が大好きです。友達と笑い合う日々を過ごしています。小学生の頃は学校だけでは遊び足りず、公園や児童館で友達と遊ぶことが日常でした。友達の家に行くこともありました。子供が集まる家の迷惑になるので、思いきり体を動かすことが出来、気を使わなくても良い公園などの施設は、小学生の私にとって、必要不可欠な場所でした。また、思い出深い場所でもあります。そのような施設は税で作られ、維持されています。良い事も悪い事も経験できたのは、そういった施設があつてこそ、税があつてこそです。また、自由に遊ぶことで感情豊かになり、脳が活性化します。自宅近くに思いきり遊ぶこ

とが出来た施設が多く存在していたことに改めて税の必要性を実感します。

また、不必要に思える税も、実際は私達を守るために存在しています。例を挙げると通称ポテトチップス税がそのうちのひとつです。ハンガリーで二〇一一年に導入されました。塩分や糖分が高い商品にかかる税であり、肥満税とも言います。導入理由は国民の肥満防止です。ハンガリー国民は肥満率が高く、国民の生活改善と肥満対策が求められていました。即ちこの税は、国民の健康を国が守るためのものといえます。同時にハンガリー国民の糖尿病患者を減らし、医療費削減を目指したのです。日本の税にも置き換えられるものがあるのではないのでしょうか。また、削減された医療費分の税が、国を発展させるための資金に少しでもなるなら、まさに一石二鳥と言えるでしょう。

政府は多くの検討を重ねて一つ一つの税を考案しています。「税」は日本やその国民の事を考えた結果であり、不必要な税は一つもありません。私達は税に守られています。ですが中学生の私に貢献できる税は「消費税」くらいです。しかし、税があるからこそ経験できたことは数え切れません。

今後とも一国民として、納税者が納得できる行動や経験をしていきたいです。また、これからも生活していく上で税に救われる事が多々あると思います。日々過ごす中で使われている税も、当たり前と錯覚せず、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。